

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 159 号 2011. 7. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

心も体も回復、みかんジュース

練馬区 近藤弘文



今年5月、糖尿病を患い、体力が衰えたところに風邪をひいてしまい、治まったと思う間もなく、今度は歯肉炎で、右側の頬がゴルフボール大になるほど腫れ、食事が摂れない状況となりました。はじめは流動食、豆乳、ゼリー等でしのいでおりましたが、ますます体力、気力が落ちていくばかりでした。

ある日、ふと無施肥無農薬のみかんジュースが目にとまり、「これしかない」早速買って、家で一杯…五臓六腑に沁みわたる！体が歓喜している様！何も食べられず、落ち込んでいたのが、不思議と気持ちまで楽になるではありませんか！3日間ジュースだけで、みるみる元気になっていき、頬の腫れも治まってきました。

皆さんが、無施肥無農薬の作物を食べて元気になられたことは知っております。しかし、私には「そこまでつらい体の病気はなかったし、普通の食品で十分」と他人事でした。もし「みかんジュースを飲むしかない」と思わなければ、きっと病院へ行き、点滴をうけていたことでしょう。生産者の強い想いと真心で出来上がったモノには、素晴らしいENERGYが入っていることを強く思い、心から感謝しました。

「HAPPY 農園」におこしやす！

滋賀県 山本 啓



自然農法9年目。2003年から京都、2009年からは滋賀でHAPPY農園に取り組んでいます。きっかけは、自然農法のことを知ってはいても、実際に行っている人が周囲におらず、それなら自分でやってみようという思いからでした。

現在のHAPPY農園は、もともとは川底で、その後十数年も耕作放棄地だったところを開墾し、2009年3月から畑として使っています。そのため砂土であること、また長年、人為的に施肥されていないことが主な特徴です。広さは約200坪、年間20種類以上の野菜を栽培しています。実際の農作業は週末を中心に、十数名のメンバー、みな素人ばかり、30代以下の若者も多く、楽しみながら真面目に取り組んでいます。週末に人が集まる、しかも「肥料はやりません」という看板が立っている——近所でもちょっと変わった農園として評判だそうです。参加者が自然・生命・食などについて感心を持ち、学ぶ場でありたい、そのため、興味のある方はどなたでも自由に参加してもらっています。

モットーとして、安心安全で美味しい作物、命を繋ぐ本物の作物を作りたい、そして、1人でも多くの方に食べてほしい、という思いで取り組んでいます。そのため、知り合いや出会った方々に自然農法についてお話し、作物をお分けしています。先日も、偶然知り合った方が大腸ガンを患っておられるとのこと、後日野菜を郵送したところ、「とても美味しい、喉の通りがよく、夏バテにも効きそうなので、また分けてほしい」と感謝の連絡を頂きました。私自身は昔から野菜嫌いですが、自分で作ったエンドウの豆御飯を食べてビックリ、一転好物となりました。やはり本物を食することの大切さ、身をもって感じました。



今後の課題として、土についてより学び、作物の生理にあった栽培を心掛けたい、そして、多くの方に自然農法の作物をお分けできるようなあり方を考えていきたい、と思っています。(農園ブログ <http://ameblo.jp/happppyfarrm/>)



TOREK 活動に取り組む高畑さん



埼玉県入間市で、お茶の無肥料無農薬栽培をしている三六九会の高畑忠江さんは、責任者になって15年。最初2~3年は参加者が少なく、係の想いがバラバラで、「もう続けていくことはできない、畑を返そうか」という話にまでなったそうです。しかし、他のメンバーから「できる限り協力するから、責任者を続けてほしい」と言われ、思い留まりました。それからだんだんと参加者が増え、係の気持ちがひとつになると、それまであまりできなかったお茶以外の作物、ジャガイモ、落花生、絹さや、大根などが収穫できるようになりました。そのことが今までで一番感動したことだそうです。

また今年も、お茶の木の枝に巻きついて締め付けてしまう雑草を、皆で力を合わせて取るようにしました。つるを一本一本ほどき、根っこから引き抜きます。根を抜かないと、またいくらでも伸びてきてしまうからです。そうしたところ、見違えるように枝がよく育ち、葉がこんもりと茂ってきました。その結果、今までで一番の収量を得ることができました。お茶の木はこうしてくれるのを待っていたんだなと思ひ、気持ちをこめて、作物に接することの大切さを感じたそうです。

高畑さんは数年前に定年退職し、今ではひとりで草取りに行くこともしばしばあります。周りの農家さんと接する機会が増え、自然農法のお話をしたり、栽培に関する情報交換をしたりしています。三六九会が集まる日は農園前に自然農法の資料なども掲げて、皆で自然農法の普及に取り組んでいます。

また去年は長野県の堀農園に援農に行き、土の素晴らしさに感動したそうです。「今年は6月の補植に参加できなかったの、稲刈りには絶対行きます！」と楽しそうに語ってくれました。(編集部)



台風の中でも！鎌ヶ谷頒布会



7月19日朝、台風6号の大雨の中、鎌ヶ谷頒布会に向かった。ほとんど外で行われているような鎌ヶ谷頒布会、果たしてやるのだろうか、新鎌ヶ谷駅で電車を下り、会場に着くと、スタッフの方々がせっせと準備をしていた。やはり台風など関係なく行うのだと感心し、手伝いなどをさせていただいた。

雨が降ったりやんだりする中、さすがに来場者は少なかったが、どんなときにも笑顔で、自然農法の作物の普及を続けていく、という揺るぎない姿に感動を禁じえなかった。

7月といえば、実はこの日、正真正銘の鎌ヶ谷頒布会5周年。5年前の7月19日、あの華々しい第一回頒布会に比べると、寂しかったかもしれないが、こんな日も、あんな日もあって、自然農法を普及していくのだと思った。実際それ以降、多くの方が自然農法の作物に助けられている。私の娘も鎌ヶ谷頒布会で手に入れたみかんジュースで百日咳が回復した。5周年企画は改めて11月に行う予定と聞いた。ぜひそのときは参加したいと風の中思った。(編集部)

お知らせ

- ★ 自然農法農産展 8月3日(水)販売 / 8月21日(日)展示
食のあふれている今、人を生かす生命力ある食べ物は一体どれほどあるのでしょうか? 「本物を食べる。作る。考える。未来につなげよう! TOREK 自然農法」をスローガンに取り組んでいます。(販売予定はチラシをご覧ください)
- ★ 自然農法頒布会 8月18日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)
- ★ 自然農法勉強会 8月30日(火) 午前の部 10:30~
午後の部 19:00~ (別院講堂)



お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>